



報道関係者 各位

令和3年6月22日

【照会先】

神奈川県労働局 労働基準部 安全課

安全課長 千葉幸則(内線6050)

主任産業安全専門官 山崎新也(内線6051)

産業安全専門官 加藤英一(内線6059)

(代表電話) 045(211)7352

## 神奈川県下における令和2年の労働災害発生状況について

### ～死亡災害が大幅に増加～

神奈川県労働局（局長 川口達三）では、令和2年における神奈川県内の労働災害の発生状況を取りまとめたので、その概要を発表します。

#### 労働災害発生状況

令和2年の労働災害による死亡者数は37人（対前年比13人増加）となりました。

また、休業4日以上之死傷者数は7,617人（対前年比で522人増加）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害は413人で、これを除いても、全体としては増加となりました。

#### 死亡災害発生状況

業種別では、建設業で14人（対前年比4人増加）、清掃・と畜業で6人（対前年比3人増加）、製造業で5人（対前年比3人増加）、陸上貨物運送事業で5人（対前年比3人増加）。

また、事故の型別では「墜落、転落」で13人（対前年比で2人増加）、「交通事故」で10人（対前年比で4人増加）、「はさまれ、巻き込まれ」で6人（対前年比で5人増加）となりました。

#### 死傷災害発生状況

業種別では、陸上貨物運送事業で1,044人（対前年比で63人増加）、社会福祉施設で1,005人（対前年比で282人増加）、小売業で992人（対前年比で75人増加）、製造業で924人（対前年比で137人減少）、建設業で824人（対前年比で16人増加）となりました。

#### 労働災害防止のための取組

神奈川県労働局では、第13次労働災害防止推進計画に基づき、以下を重点とした対策に取り組んでいます。

##### ○死亡災害の撲滅を目指した対策

建設業における「墜落、転落」災害の防止（安全な作業床の確保及びフルハーネス型墜落制止用器具（安全帯）の普及）、製造業における機械による「はさまれ、巻き込まれ」災害の防止対策（設備の本質安全化等）

##### ○労働災害が多発傾向にある、又は減少が見られない業種への対応

小売業・飲食店・社会福祉施設などの第3次産業に対する労働災害の防止対策（「安全

で安心な店舗・施設づくり推進運動」の普及等) 及び陸上貨物運送事業に対する労働災害の防止対策（「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」の普及等)

○全ての業種に向けた労働災害防止への対策

全ての業種に対し、転倒災害の防止（「STOP！転倒災害プロジェクト神奈川2021」の普及）、高齢労働者の労働災害の防止（「エイジフレンドリーガイドライン」の普及）及び熱中症における労働災害防止対策

また、全国一斉の取組として「全国安全週間」（本週間：7月1日から7日）が始まります。

神奈川労働局では、「全国安全週間」に向けて、労働基準部長によるパトロールを実施する他、7月1日には安全衛生に係る優良事業場、団体又は功績者等に対する表彰式を実施するなどして、このコロナ禍にあっても、労働災害防止活動や安全文化構築の重要性について、繰り返し周知を行ってまいります。

#### 関係資料

- ・ 令和2年 死亡災害発生状況（業種別・事故の型別）
- ・ 令和2年 死傷災害発生状況（業種別・事故の型別）
- ・ 転倒防止！「全集中！！」（神奈川労働局リーフレット）
- ・ 働く高齢者の特性に配慮したエイジフレンドリーな職場づくりを進めましょう（厚生労働省リーフレット） -省略-
- ・ 「第13次労働災害防止推進計画の概要」（神奈川労働局リーフレット）
- ・ 全国安全週間（厚生労働省リーフレット） -省略-

## 令和2年発生 死亡災害発生状況(業種別・事故の型別)

(死亡災害報告による)

神奈川県労働局

型 業 種	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・ 巻き込まれ	おぼれ	有害物との 接触	破裂	交通事故 (道路)	左記以外	合 計	令和元年 合 計	増 減
製造業	1			1			2				1		5	2	3
建設業	7				2	1					3	1	14	10	4
陸上貨物運送事業	1						1				2	1	5	2	3
小売業											1		1	1	
社会福祉施設															
飲食店															
清掃・と畜	1						2				2	1	6	3	3
上記以外の業種	3						1				1	1	6	6	
合 計	13			1	2	1	6				10	4	37	24	13
令和元年 合 計	11	1	1		1	1	1				6	2	24		
増 減	2	-1	-1	1	1		5				4	2	13		

\* 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業を示す。

## 令和2年発生 死傷災害発生状況(業種別・事故の型別)

【休業4日以上の死傷者数 労働者死傷病報告による】

神奈川県労働局

業種 \ 型	転倒	動作の反動、無理な動作	墜落、転落	はさまれ、巻き込まれ	その他	激突	交通事故(道路)	切れ、こすれ	表示型以外	合計	令和元年合計	増減
製造業	205	121	121	198	10	42	7	70	150	924	1,061	-137
建設業	90	62	243	101	18	47	21	68	174	824	808	16
陸上貨物運送事業	202	273	242	84	7	69	62	15	90	1,044	981	63
小売業	316	180	104	64	7	62	70	72	117	992	917	75
社会福祉施設	255	348	48	17	207	49	27	22	32	1,005	723	282
飲食店	108	38	28	13	1	13	40	63	75	379	399	-20
清掃・と蓄	144	62	100	46	4	35	13	18	51	473	461	12
上記以外の業種	452	276	249	91	315	115	177	53	248	1,976	1,745	231
合計	1,772	1,360	1,135	614	569	432	417	381	937	7,617	7,095	522
令和元年合計	1,684	1,177	1,162	608	114	379	480	449	1,042	7,095		
増減	88	183	-27	6	455	53	-63	-68	-105	522		

\* 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業を示す。

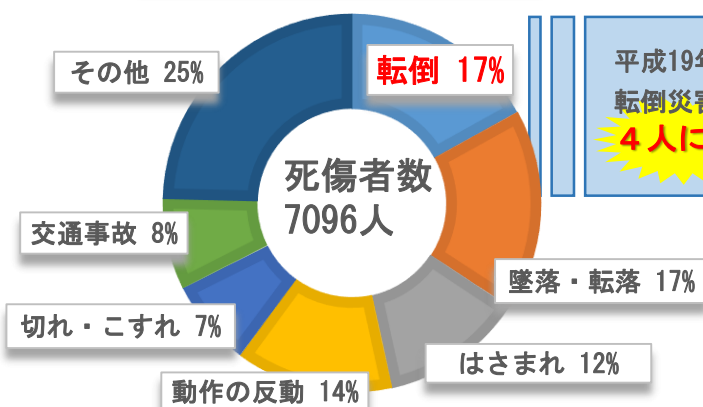
\* 新型コロナウイルスのり患による413人は「その他」へ分類。

# 転倒防止！「全集中！！」

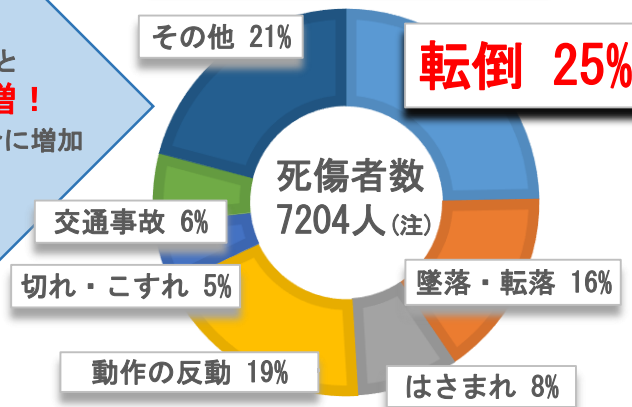
「STOP!転倒災害プロジェクト神奈川2021」推進中

令和2年に神奈川県内で発生した労働災害（休業4日以上死傷災害）による死傷者数は7,617人、事故の型別に分類すると「転倒」が1772人で全体の約25%を占めており、近年、増加傾向にあります。

平成19年の事故の型別労働災害発生状況



令和2年の事故の型別労働災害発生状況

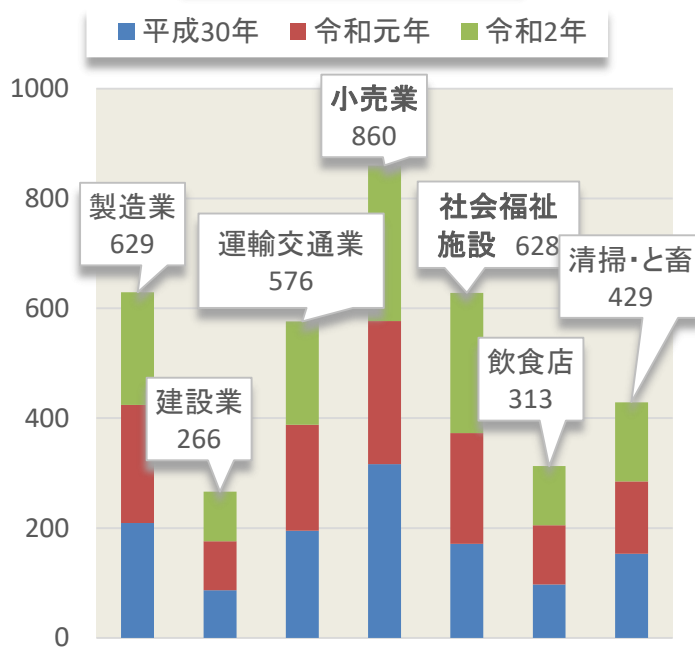


平成19年と比べると  
転倒災害は8%増！  
4人に1人の割合に増加

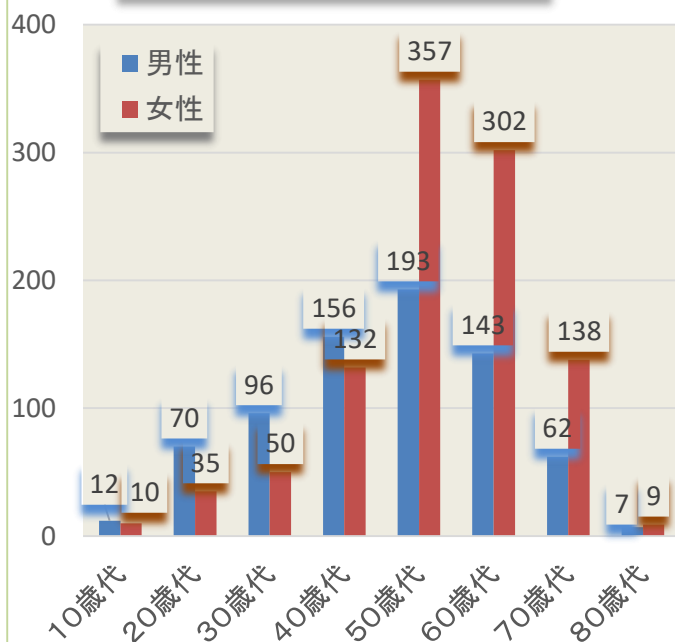
(注)コロナリ患者413人除く

転倒災害は小売業、社会福祉施設、製造業で数多く発生していますが、どの業種でも発生しています。また、約7割が50歳以上の高齢者であり、特に女性労働者に顕著です。一度けがをすると休業が長期化します。

直近3年間の業種別転倒災害発生状況



令和2年の年齢別・男女別転倒災害発生状況



6月は、転倒災害防止の重点取組期間です！



神奈川労働局・県下各労働基準監督署



転倒災害防止は、**3つの注意（STF注意）**が基本です。



すべり注意



つまずき注意



踏み外し注意

皆さまの職場には似たような危険はありませんか？  
転倒災害を防ぐには、次の取り組みが有効です。

- 1 作業場所の整理整頓
- 2 作業場所の清掃
- 3 毎日の運動



「ころばNICEかながわ体操」

以下のチェック項目で事業場を点検してみましょう。

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った対滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などを、標識などで注意喚起していますか	<input type="checkbox"/>
8	ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くこと、手すりを持たない階段の昇降などを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

# 『神奈川県労働局 第13次労働災害防止推進計画』の概要

神奈川県労働局 2021年5月

## 計画期間

\*2018年度～2022年度（5か年計画）

## 計画の全体目標

\*2022年までに、神奈川県内の労働災害による死亡者数を15%以上減少（2017年比）

\*2022年までに、神奈川県内の労働災害による死傷者数を5%以上減少（同上）

【2017年（比較基準年）：死亡者数30人、死傷者数6551人】

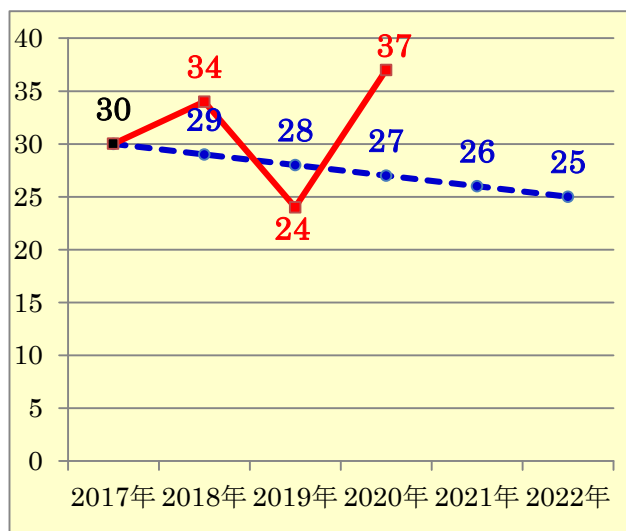
【2022年（最終目標）：死亡者数25人以下、死傷者数6223人以下】

## 7つの重点事項

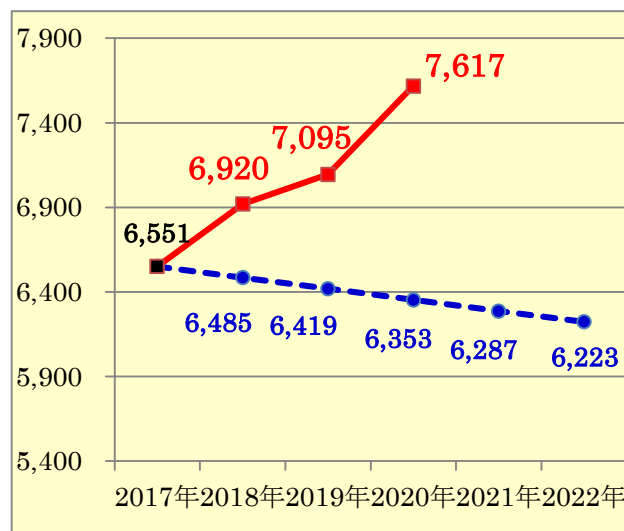
- (1) 死亡災害の撲滅を目指した対策の推進
- (2) 過労死等の防止等の労働者の健康確保対策の推進
- (3) 就業構造の変化及び働き方の多様化に対応した対策の推進
- (4) 疾病を抱える労働者の健康確保対策の推進
- (5) 化学物質等による健康障害防止対策の推進
- (6) 企業・業界単位での安全衛生の取組の強化
- (7) 安全衛生管理組織の強化及び人材育成の推進

## 2022年目標への各年の具体的数値目標

《死亡者数》



《死傷者数》



（点線のグラフは2018年計画策定時の最終目標までの指標数値）

## 重点対策の目標設定

※2018年から2022年の上段は目標値、下段は実績を示す

業種		種別	2017年	減少目標	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
災害減少	全業種	死亡者数	30	15%減少	29 34	28 24	27 37	26	25	
		死傷者数	6,551	5%減少	6,485 6,920	6,419 7,095	6,353 7,617	6,287	6,223	
	小売業	死傷者数	839	5%減少	830 937	821 917	813 992	805	797	
	社会福祉施設 ※	死傷者数	621	5%減少	623 634	625 723	627 1,005	629	630	
	飲食店	死傷者数	364	5%減少	360 378	356 399	352 379	348	345	
	陸上貨物運送事業	死傷者数	925	5%減少	915 982	905 981	896 1,044	887	878	
	建設業	死亡者数	6	15%減少	5 10	5 10	5 14	5	5	
		死傷者数	730	10%減少	715 727	700 808	685 824	671	657	
	製造業	死亡者数	6	15%減少	5 6	5 2	5 5	5	5	
		死傷者数	1,022	10%減少	1,000 1,044	979 1,061	959 924	939	919	
健康確保・職業性疾病対策	メンタルヘルス対策		① メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業場の割合を80%以上(56.6%:2016 全国値)とする。 ② ストレスチェック結果に基づき集団分析を実施した労働者 50人以上の事業場の割合を85%以上(78.7%:2017 神奈川)とする。							
	腰痛予防対策	小売業	死傷者数	58	5%減少	57 65	56 59	55 89	54	54
		社会福祉施設 ※	死傷者数	131	5%減少	131 108	131 118	131 157	131	132
		飲食店	死傷者数	11	5%減少	10 10	10 6	10 10	10	10
		陸上貨物運送事業	死傷者数	70	5%減少	69 50	68 61	67 75	66	66
	熱中症対策		熱中症による死亡者数を2013年から2017年までの5年間と比較して、2018年から2022年までの5年間で5%以上減少させる（5年間で3人以下→2021.2末現在6人）							

注1)「災害減少」の「種別」欄の「死傷者数」は、死亡及び休業4日以上の災害の略である。

注2)「災害減少」の「2022年最終目標」欄の「○○%減少」は、「2017年の災害発生件数に対して2022年までに、○○%以上減少させる」の略である。

注3) 社会福祉施設については、過去の労働者の増加状況から2022年の労働者数を予測し、これを基に死傷年千人率を算定し、減少目標数を導き出したものである。